

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	多治見市立多治見中学校		
実 施 期 間	平成25年10月12日(土)～11月16日(土)		
実 施 概 要	1 「思春期の体・心・性について」講演会(多中教育の日に開催)と授業参観 2 中庭コンサート(中学校の中庭を会場にコンサートを行い、保護者や地域の方とも交流) 3 五校挨拶運動・多治見市挨拶で絆の日(校区の小中高五校が連携して挨拶運動を行う) 4 三ツ池の森整備作業(地域の方と校区の森を整備する)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 □歴史 ■文化 □産業 ■その他		
	公開の方法 ■授業公開 □成果発表 □交流活動 ■講演会等 □地域行事等参加 ■その他		
来 校 者 数	保 護 者	全活動でのべ約700人	計 約800人
	地域関係者	全活動で延べ約100人	
実 施 状 況	1 「思春期の体・心・性について」講演会(11.2土 助産師・思春期保健相談士を講師に保護者が思春期の子どもたちの体や心や性について考えた。) 2 中庭コンサート(10.12土 中庭を会場に「はちまん正人」さんを招いてコンサートを行い、本校吹奏楽部との共演や音楽鑑賞を通して保護者や地域の方と交流した。) 3 五校挨拶運動(校区の小中高五校が連携して本年度第2・3回の挨拶運動を実施)第2回の10.15火は、多治見市「挨拶で絆の日」を兼ねて実施。第3回は、11.15金に実施。生徒会役員、教職員、PTA役員などが地域や学校に立って挨拶を交わした。 4 三ツ池の森整備作業(地域の方と校区の三ツ池の森を整備)地域の方を講師にして1年生の三ツ池の森整備活動を行う前の環境整備活動を行った。 以上のように地域や保護者との連携を大切にした事業を実施している。		
成果及び課題	1 講演を聞いて、難しい年頃のおが子たちに対しての接し方や問題点が分かりました。体や心・性という問題に対して正しく理解することの大切さを感じた。多中教育の日は、母親だけでなく父親の参加も増えてきており、学校との関係も年々よくなってきている。 2 とても感動した。ピアノが秋の夜空にぴったりだった。吹奏楽部の一生懸命さがよかった。学校と地域のつながりが感じられた。このコンサートは続けて欲しいと思った。 →聴くマナーに気をつけて欲しいと思った。 3 多治見市の挨拶運動が本年度から実施され、中学校区の幼保も連携して挨拶運動に取り組もうとする動きも出てきている。 4 PTA役員等と地域の方の協力で地道に継続して実施されているが、やや参加人数が少ない。1年生の生徒にとっては地域に根ざした活動が継続してでき、大変価値のある学習になっている。		